

(様式1)

北海道富良野高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
I グローバル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 令和9年度完成年度に向けて、より進路選択の方向性が明確化する教育過程にする。 (2) 1年次から進路希望が明確化できるようサポートを行い、必要な資格を取得させる。	A	(1) 学科の運営も億票を念頭に置き、選択教科の設定を行う。 (2) 定期的な面接指導や放課後講習により合格率を100%にする。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 農業と観光の街として、常に在籍するインバウンドや外国人労働者との交流を行う。 (2) 専攻班の研究目的に「新たな観光資源」を取り入れ、常に地域をデザインする研究を実践する。	B	(1) 富良野市、商工会と連携し外国人との接点を定期的に行い、「富高カフェ」でインバウンドとの交流を行う。 (2) 普通科・総合ビジネス科と連携し、学校としてカフェで提供する商品をデザインする。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) ドローンを活用した画像分析による科学的な管理について、スマート農業組織と連携した取組を実践する。 (2) 農業の魅力を自ら考える能力をつけられるよう、 (3) 生徒個々の能力に応じた手厚い指導を実施する。	A	(1) スマート農業組織を通して地域農家圃場でドローンを活用した管理を実施する。 (2) 農業視察研修先の選定基準を見直し、事前/事後指導手厚く行う。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域農業を理解し、高校生目線で地域の課題を挙げ、解決するための取組を実施する。 (2) 近隣の先進農家や先進的な農業関連産業への視察や関わる方のワークショップを実施する。	A	(1) 地域関係機関との交流会を定期的に行い、進路選択について日頃から意識づける。 (2) 将来、生徒が農業経営や農業関連産業への就職を視野に入れた指導を実施する。
III 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) SDG'sに関する学習を各学年、2時間以上実施する。 (2) 農薬、肥料などは適切な施用を行う。	A	(1) 農業と環境、農業経営などの授業でSDG'sに関する学習を実施する。 (2) JA ぶらの乗せよう基準を遵守した栽培管理の継続実施。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	学校圃場や地域で生産された原料を元に新商品を開発できる環境を整備し、次年度に本格化される	B	ぶらのワインの絞りかすを有効活用し、新たな経営戦略を出賢する。
IV 拠点となる学校 地域交流の	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICTを活用したアクティブラーニングを実施し、想像力や表現力が控除できる授業を実施する。 (2) IoTを活用した生産活動を実施し、新たな農業経営の魅力を共感できる授業を実施する。	A	(1) ICT, IoTを活用した授業を実施するための研修を行う。 (2) 農業特別専攻科、総合ビジネス科と連携し、学校としてこれからの地域農業のあり方を学ぶ。
V 推進する学校 地域防災を	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	農業教育において過去に起きた自然災害に触れる授業を実施する。	A	活火山をもつ地域ならではの防災対策のこを行う。